

# 施政方針

## 令和6年度

# 教育行政方針

はじめに、本年元日に発生した石川県能登半島地震により、お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、今もなお避難生活を余儀なくされている皆様にお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧、復興を願うところであります。

本町においても、現在、地域防災計画の改定作業中ではありますが、この地域においても大規模地震がいつ起きてもおかしくない状況にあることを念頭に、引き続き関係機関と連携し、防災・減災対策に取り組んでまいります。

近年、地球温暖化問題はより一層深刻化しており、本町においても、昨年は各学校において熱中症対策のため臨時休業するなど、記録的な暑さに見舞われ、児童、生徒の体調管理や教育活動へも影響が出ています。

本町としまして、小中学校や児童館、保育所など公共施設への冷房設備の整備を進め、熱中症対策や環境改善を図ってまいります。

酪農業につきましては、飼料や肥料、光熱水費など、生産コストの高止まりや生乳生産抑制、牛の個体価格の低迷に加え、昨年の猛暑の影響による乳量の低下など、酪農に与えた影響は大きく、依然として厳しい経営状況が続いています。

酪農家が将来にわたり意欲を持って営農を続けられるよう、農協等関係団体と連携し、「生乳生産抑制からの脱却」「生産基盤の回復」に向け取り組んでまいります。

町の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、地域経済が再起動していく一方で、エネルギー価格や物価の高騰に加え、深刻化する働き手不足など、景気回復への課題は山積しています。

引き続き、産業の振興と雇用の確保につながる施策を推し進め、地域経済の発展に努めてまいります。

私は、平成28年の就任から、一貫したまちづくりの基本姿勢として、中標津らしさの継続を掲げ、その実現に向けた最重要課題となる人口減少問題を常に念頭におき、政策・施策を展開してまいりました。

しかしながら、確実に進む人口減少、少子高齢化は、働き手の減少による地域経済の衰退だけでなく、学校の統合問題にも及び、保護者や地域住民とともに考えていかなければならない時期も近付いております。

先達が構築した住みやすさを維持していくためには、これまでの施策の成果を検証し、更に磨き上げ、政策の効果を高めていかなければなりません。

そして、本町が持つポテンシャルや可能性は、様々な課題解決のヒントになるものと考えております。

これからも、中標津が中標津らしく存続することができるよう、第7期総合計画の基本理念である「つながる」をキーワードとして、今まで作り上げた利便性と住みやすさを更に追及し、バランスの良いまち、「住みやすさNO.1のまち」を目指して町民の皆様とともにまちづくりを進めていく所存でございます。

はじめに、この度の令和6年度能登半島地震の報に接し、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

この地域においても、大規模地震がいつ起きてもおかしくない状況があることを念頭に置き、日頃より防災等への意識を高め、関係機関と連携した取り組みを進め、自ら予測・判断し、行動できる力の育成に努めます。

また、人口減少や少子高齢化の進行、情報技術やグローバル化の進展などにより、価値観やワークスタイルが大きく変わる中、従来の知識や経験だけでは解を見いだすことが難しい時代となっています。こうした変化の激しい時代にあっても、子どもたちが、自らの良さや可能性を認識するとともに、全ての人を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、未来を切り拓く持続可能な社会の創り手として成長していくことができるよう、必要な資質・能力を育む教育行政の推進を図る上で、

確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、中標津町教育大綱の基本理念である「ふるさとを愛する心と思いやりの心をもち、社会の中で生きる力を育む教育」を念頭に、誰もが郷土に愛着を持ち、残りた

い・帰ってきたいと思えるまちづくりを進めるため、学校・家庭・地域が一体となった地域の総合力による教育活動に努めてまいります。

中標津町教育委員会では、令和2年度より中標津町の幼稚園・学校の合言葉を次のとおりとしています。

幼稚園 「あいさつ かたづけ みんななかよし」

小・中学校 「あいさつ そうじ べんきょう 時間を守る」

「いじめや仲間はずれをしない心の優しい子どもになる」

農業高校 「時を守り 場を清め 礼を尽くす」

「社会性を養い 良好な人間関係を築く」

自主・自律の精神と規範意識、人を思いやる心の醸成は、いつの時代も変わらない教育の基礎基本です。

この合言葉をすべての教職員・園児・児童・生徒が常に心がけ、地域・保護者の理解と協力を得ながら、しっかりと身に付けることが望ましい園・学校づくりへの第一歩だと考え、実践してまいります。

中標津町教育委員会としては、地域・学校・家庭・行政が「横の」つながりを大切にし、本町の持つ豊かな資源を学校教育・社会教育それぞれの場で効果的に活用し、学びの楽しさを実感できる教育の実現を進め、生涯を通じて主体的に学び続ける意欲を育み、持続可能な地域づくりを担う人材を育成する本町教育の発展に全力で取り組んでまいります。

紙面の都合上、一部のみ掲載しています。全文は町ホームページをご覧ください。